

作成日：2026 年 7 月 3 日

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Gastrointestinal stromal tumor の進展と再発に関する臨床病理学的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2014 年 4 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日に昭和医科大学江東豊洲病院で、2004 年 4 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日に昭和医科大学病院で、診療（診断および治療）を受け、昭和医科大学江東豊洲病院臨床病理診断科および昭和医科大学病院臨床病理診断科で、GIST と病理診断された患者さん

2. 研究目的・方法

Gastrointestinal stromal tumor (GIST) は消化管間葉系腫瘍という稀な病気です。この病理は通常の胃癌や大腸癌とは異なり、消化管の間葉組織という組織からできる腫瘍で、その多くは良性で手術切除することで治る病気ですが、一部では、再発したり転移したりすることがあり、分子標的療法という特殊な治療の対象となります。GIST のうち、どのような症例が再発・転移しやすいかは、リスク分類で判断され、それは主に病理診断によって行われます。しかし現在行われている病理診断によるリスク分類では、GIST の再発転移の予後には不十分と考えられています。

私たちは、過去に昭和医科大学江東豊洲病院と昭和医科大病院で診療をうけた GIST 患者さんの病理検体を用いて、これらの問題を解決する研究をしたいと考えています。そのため、過去の GIST 患者さんの病理検体、カルテ情報など使って研究します。研究対象はすべて、病理診断が終わって病院に保存されていた病理検体を使用するため、患者さんに新たな検体採取のお願いをすることはありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2031 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

病理解剖報告書、病理診断報告書、細胞診報告書、病理組織標本、細胞診標本、診療録の情報

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者	研究機関名	昭和医科大学臨床病理診断学	氏名	塩沢英輔
研究分担者	研究機関名	昭和医科大学臨床病理診断学	氏名	酒井 透

研究分担者	研究機関名	昭和医科大学臨床病理診断学	氏名	矢持淑子
-------	-------	---------------	----	------

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部 氏名：塩沢 英輔

住所：東京都品川区旗の台 1－5－8 電話番号：03-3784-8122